

令和3年8月16日

生徒の皆さんと
保護者の皆様へ

岡山県立倉敷工業高等学校
校長 安藤 正道

県立学校の部活動における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

岡山県内において新型コロナウイルスの感染が急拡大しており、今後のさらなる状況悪化が懸念されています。先週、岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、新たな感染拡大防止策の県民への協力依頼等があったことを踏まえ、部活動の取扱いについては、8月17日から次のとおりとします。

現在の感染の主流とされる変異株は、従来株と比較すると児童生徒等へも感染力が強い可能性があることや、本県で8月4日から8月31日まで岡山県デルタ株特別警戒期間が設定されていること等も踏まえ、しっかり危機意識を持ち、これまで取り組んできた基本的な感染症対策をさらに徹底しながら、適切に対応して参ります。

なお、今後、状況に変化があった場合は、対応等の変更や追加があることを申し添えます。

記

1 通常の活動

可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動へ切り替え、密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動については、地域の感染状況を踏まえ、自粛も含め慎重に検討します。

また、練習開始時の集団走でのかけ声など、近距離でのかけ声や向かい合っでの発声等は避けます。

なお、活動する場合は、以下を遵守します。

- (1) 活動場所は、原則校内（※）のみとする。
- (2) 活動時間は3時間以内のできるだけ短時間とする。
- (3) 昼食時間を挟まないように設定する。

※ 活動拠点が校内になく校外施設のみの場合や合同部活動の場合は、当該施設及び練習拠点を校内とみなしますが、移動に当たっては感染防止に十分留意します。

2 対外試合等

- (1) 対外試合や合宿等の実施

対外試合については、県内であっても行いません。

また、合宿や県外との交流（県外からの招聘も含む。）についても行いません。

なお、インターハイ等の全国大会への出場については、大会前の県外との交流は、競技特性や感染拡大地域等の状況を踏まえ慎重に検討します。

- (2) 大会や演奏会等への参加

大会や演奏会等への参加に当たっては、感染症対策に万全を尽くします。

なお、県外の大会や演奏会等への参加については、十分な感染症対策が講じられている公式戦等（全国・中国大会等）への参加を除き、自粛します。

3 特に注意が必要な場面

(1) 飲食の場面

活動時間内の休憩時や活動時間の前後において、生徒同士や教職員との飲食の場面で感染が疑われる事例が多数発生していることから、活動時間の工夫等により、飲食の場面を作らないようにします。水分補給等の場合は、会話を控えるなど留意します。

(2) 更衣の場面

部室での会話（密閉空間における近距離での会話）により、濃厚接触者に特定された事例もあることから、部室や更衣室等を利用する際にも必ずマスクを着用し、外す場合は会話をさせません。また、短時間の利用とし一斉に利用することは避けま

(3) 帰宅途中の飲食場面

部活動終了後の帰宅途中にコンビニエンスストア等に立ち寄り、集団で飲食する場面も見られることから、校外においても、(1)及び(2)の対応を踏まえ、十分に注意します。

4 マスクの着用

マスクの着用については、熱中症事故の防止を図りながら、感染症対策に万全を尽くします。

運動時は、身体へのリスクを考慮し、マスクの着用は必要ありません。特に、呼吸が激しくなる運動を行う際や、気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い日には、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症などの健康被害が発生するリスクがあるため、十分な感染対策を講じた上で、マスクを外させます。ただし、用具の準備や片付けなど運動を行っていない際は、感染症対策として可能な限りマスクを着用させます。

合唱時は、原則マスクを着用することとし、感染症対策を徹底します。

なお、気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高くない日に、呼吸が激しくならない軽度な運動を行う際、生徒等がマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を否定するものではありませんが、合唱時等を含めて、マスクの着用時は、生徒等の体調の変化に注意し、教員は適切な声かけ等を行い必要に応じて他の生徒等との距離を十分に確保して、マスクを外して休憩するよう指導するなど、感染症対策を講じながら事故防止にも留意します。

【 本件問合せ先 】

岡山県立倉敷工業高等学校

教 頭 兼 か ね も り と し ひ ろ 森 俊 浩

副校長 く り た た け は る 栗 田 武 治

TEL (086) 422-0476

FAX (086) 422-9934